

市長が行く

茂原市長

No.21

田中 豊彦



市政マニフェスト

マニフェストという言葉が広く使われるようになつて、人々の政治に対する意識が少しずつ変わってきたように思います。

今までの漠然とした公約より、具体的なマニフェストを掲げることで、政治がより分かりやすく、身近に感じられるのではないか。

私は、2年前の市長選挙で19項目のマニフェストを掲げました。今回任期半ばで、上記のように検証してみましたが、そのうちの13項目が達成および実施中で、5項目が検討準備中、1項目だけ未実施という状況です。自分ではA判定をつけたいものもあるのですが、任期途中なのでつけられないということ、ちょっとと残念です。

とにかく、68%はマニフェストを実行に移しているといえるのではないかと、自己採点しております。

財政状況が大変厳しい中で、掲げたマニフェストを実行することは、大変な困難を伴いました。また今後も、市を取り巻く財政や社会状況の変化等により、なかなか前向きに取り組めないこともあるかもしれません(今までにも、新型インフルエンザや定額給付金のこと)を考えていました。

もちろんだからといって今の状況に満足しているわけではなく、これからも自分が掲げたマニフェストを実行するために、努力していくつもりです。

中でも力を入れたいと考えているのは、財政の建て直しと医療の充実です。またマニフェストには掲げてありましたが、景観条例に基づく街づくりにも取り組みたいと思つております。

この原稿を書いている今、サッカーのワールドカップが始まりました。日本代表は「ベスト4進出」という目標を掲げています。実現不可能となたかれて、これはスポーツの世界のことで、選手の志気を高めたり、潜在能力を引き出す可能性もあるでしょう。それに比べ、政治の世界のマニフェストは、単なる目標ではなく、期限を決めてそれを実現させなければなりません。「出来なくとも全力で頑張つたのだからいいよ」とは言つてもえないので。日本チームを応援しながら、そんな